



今回は、「耐震診断&耐震改修」についてのお話です。

建築基準法の耐震基準は昭和 56 年に改定されました。特に昭和 56 年以前に建てられた住宅は耐震基準を満たしていない可能性があります。住まいの異常を見つけたら専門家に耐震診断を依頼して確認するのもひとつです。診断結果により基礎を補強する、柱の接合部を補強する、壁を増設するといった耐震改修のアドバイスを受けられます。今回は「耐震診断&耐震改修」についてのお話です。

### 住まいの点検項目

#### <外観チェック>

- 瓦屋根のズレ
- 瓦屋根の割れ、落下
- 屋根に隙間
- 屋根にキレツ
- 外壁にキレツ
- 窓回りにスキマやキレツ
- 基礎にキレツ



#### <内観チェック>

- 天井にキレツやひび
- 壁にキレツやひび
- 床が浮いている
- 床がぶよぶよ
- タイル目地のキレツ
- ドアや引き戸がきつくなった
- ドアや引き戸にスキマ

住まいの異常を発見したら専門家に診てもらいましょう。

#### 耐震診断



↑屋根裏診断



↑床下診断

外観の点検だけでなく屋根裏や床下に入り柱・梁・土台の構造部や基礎を確認。

#### 【施工例】

##### ■壁の補強



↑筋交いを入れ構造用合板を張り補強。土台・柱・筋交いなどの接合部は金物固定。

##### ■梁の補強



↑梁を一本加え構造用合板を張り補強。火打ち金物で固定。

##### ■塀をアルミフェンスに(塀の軽量化)



施工前



↑ブロック塀をおしゃれなアルミフェンスにしました。

##### ■瓦屋根から鋼板葺きに(屋根の軽量化)



施工前 ↑瓦屋根



施工中

←防水ルーフィングと断熱・防音ボード張り

風雨による劣化部材の交換、屋根下地を補強し軽量のカラー鋼板に葺替えました。



施工後



←和瓦の 1/10 の重さの金属成型瓦にしました。地震に強く、頑丈なはず組みは台風にも安心です。

### 木造住宅 耐震プラス

住宅の構造上弱い所をしっかり補強すれば安心です。リフォームの際に耐震補強工事を一緒にすれば快適+安心で一石二鳥！

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア  
住まいのお手伝い  
事業部